表彰式および展示会の様子
（令和2年12月、徳島県立二十一世紀館にて）

“人権尊重～ひと・いのち・ふれあい～”

令和2年度「人権に関する児童生徒の作品」

徳島の未来を担う子どもたちが「人権」と向き合い、自分なりに考えるきっかけをつくるため、あいぽーと徳島では「人権に関する児童生徒の作品」を毎年県内の児童生徒から募集しています。
意見発表に係る作文、作詩作曲、標語ポスターの3部門に、40,771点という数多くの応募があった中から、**知事賞を受賞した作品及び各賞受賞者名**を紹介します。

主催／徳島県・徳島県教育委員会・徳島県立人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）　後援／徳島県小学校長会／徳島県中学校長会／徳島県高等学校長協会／徳島県人権教育研究協議会

知事賞 意見発表に係る作文部門

「今、一番伝えたいこと」

北島中学校 2年　柏木 一颯

僕には、聴覚に障がいのある家族がいます。母と弟です。僕は、母や弟を助ける為に手話を覚えて、通訳者として手助けをしています。

しかし、僕たちの身の回りには強く感じる「二つのバリア」があります。タイムリーなものでいうと、ウイルス対策のマスクです。

先日、母と買い物に行った時、母は店員との会話ができていませんでした。何故なら、母は普段、相手の口を読んで会話をする人だからです。マスクをしていると、口元が見えないためにうまく会話ができないのです。

「カードお持ちですか。」
「レシート要りますか。」

と聞かれたり、最近では、

「レジ袋ご利用ですか。」

という会話も増えたりしました。しかし、母はこれら全ての会話をまともにすることができないのです。「社会的なバリア」によって傍から見ると、母が店員の声かけを無視している、無愛想な人だと感じてしまうでしょう。

では、このようなバリアをなくすためにはどうすればよいのでしょうか。

この前、僕の家に配達に来た人が居ました。その人は、母が耳につけている補聴器に気付き、口を大きく開けて、筆談も交えながら丁寧に話してくれました。これこそが、「社会的なバリア」をなくしていくための方法なのではないでしょうか。障がいのある人をよく理解し、それに合った対応をみんなが知っていることで、両者が快く思えるようになると僕は考えます。母はそのような対応をされてすごく嬉しそうにしていました。見た目だけでは、母が耳が聴こえにくいということは非常に分かりづらいです。しかし、障がいのある人への手助けの仕方を知っているだけでも僕たちはすごく助かるのです。「社会的なバリア」をなくすには、全ての人の「理解」が必要です。これがこのバリアをなくしていくための大切な一歩であると考えます。

日常には、もう一つバリアが潜んでいます。それは、「心のバリア」です。

幼稚園、小学校、中学校と、僕の母と弟のことについて、心ない言葉をかけてくる人がいました。弟の目の前で中指を立てられたり、僕の見えない所で家族に対する悪口を言われたりもしました。

「なぜ家族が障がい者なのに音楽の道を志したんだ。」

と、僕の夢を否定するようなことを言われたこともあります。

その人達に対して僕は、「絶対に許さない」と、猛烈に腹が立ちました。言葉では言いあらわすことのできないくらい、僕の心は酷く傷付きました。

耳が聞こえないだけで何故そのような嫌がらせをするのでしょうか。障がい者の子供だからといって音楽に情熱を注ぐことはおかしいことなのでしょうか。盲目だろうが、肌の色が違おうが難聴だろうが、みんな同じ人間なのに。望んで障がいをもった訳ではないのに。同じ人間なのだから、そういった人たちの為に同じ立場に立って考え、寄り添うことこそが、僕たちに出来ることなのではないでしょうか。

また、人を馬鹿にするときに使われるような言葉。僕は、聞こえる度に頭が痛くなり、怒りを覚えます。こんな言葉を平気で口に出したり、ネットに書きこんだりする人があまりにも多いと感じます。

健常者と障がい者を明らかに別のものとして考えているからでしょうか。何故障がい者を見下すような言葉を使うのでしょうか。その気持ちがおかしいと思います。障がいのある人は、決して「見下す存在」ではなく、「寄り添う存在」ではないでしょうか。

「障がい者のくせに」「障がい者なのに」という言葉が僕のまわりをとびかっています。決して「かわいそう」と思われたり、特別視して欲しかったりする訳ではないのです。ただ、みんなと同じように生きたいだけなのです。相手をよく理解し、寄り添うこと。これが、「心のバリア」をなくすための大切な方法だと、僕は考えます。

「社会的なバリア」と「心のバリア」

この二つのバリアをなくせば、誰もが苦しむことなく、良い社会を築いていけると思います。

障がい者を、決して「不幸なんだ」と思わずに、暖かい心で接して欲しい。これは、僕たちからの切実な願いです。この思いが、皆さんの心に届いてくれることを信じています。これが僕からの、「今、一番伝えたいこと」です。

「私らしく生きること」

徳島科学技術高等学校 2年　上野 恭輔

自分は男です。身近な大人から「男らしくしなさい。」と何度も言われてきました。男らしいとは何ですか。女友だちと同じ話題で会話を楽しむことが駄目なのでしょうか。言われる度に深く疑問を感じます。

私の経験ですが、こういう発言をする方は知り合いだったり先生だったり年上の大人の方です。同年代からはほとんど言われたことがありません。私は、男女問わず仲のよい友だちがいて、女友だちとは恋愛や美容系など共通の話題でおしゃべりすることも大好きです。信頼する友だちとの時間は、性別に関係なく生きがいと言っても過言ではない大切な時間です。その会話の内容を耳にした特定の大人から、私に偏見の言葉が向けられることがあります。私は嫌なことがあっても早く忘れて前向きに過ごすことを意識しています。何を言われても私自身がそのとき深く傷つく訳ではありませんが、何故その言葉を私に向けて言う必要があるのでしょうか。私は「私」です。私のことが気に障るのなら、関わっていただかなくて結構なのにと思います。人それぞれ、思いや考えがあります。それを否定するのは違うと私は感じています。どんな思いをもっていても、一人ひとりが認められ誰もが壁のない生活を送れるようになると嬉しいですよね。

最近、性別についての様々な壁が壊れそうな予感や可能性を感じる瞬間を体験するようになりました。日本でもテレビや新聞でテーマとして取り上げられ、私たちは学校で学ぶ機会もあります。中学生のとき、鳴門教育大学の葛西先生による講演がありました。性の多様性について様々な話をしていただきました。いつも以上に静かに話を聞く生徒が多く、それぞれが何かを考えている様子に、私は新鮮な驚きと壁が壊れるきっかけを感じました。最後の質疑応答でのことです。一人の生徒が「何で恋愛対象が異性であることには疑問をもたれないのに、同性を恋愛対象として見ることには色々な意見があるのでしょうか。好きという気持ちに違いはないはずです。」というような内容を質問していました。それに何と回答されたかよりも、その質問後の周囲の様子が強く印象に残っています。そのとき周りにいたクラスメイトが「そう言われればそうだよな。」と初めて気づいたような反応をしていることに、私は驚きました。私自身は、家族ぐるみで付き合いがある人の中に同性を愛する人もいたので、恋愛は多様であることが当たり前だという認識をもっていたからです。知らない間に固定観念に囚われていたかもしれません。

この講演会がそれを覆すきっかけになっていると感じ、葛西先生が私たちに伝えてくれたことが私の心に深く残りました。

今でも、たまには偏見の言葉が私に投げかけられます。先に書いたように、いつも受け流してはいますが、決して良い気持ちではありません。私と似たような経験をして、悩み、深く傷ついている人がいるかもしれません。私は、悲しんでいる人が私を見て、少しでも元気になれたり、何かが変わったりするきっかけになりたいと思っています。何か大きなことが、今すぐ私にできるわけではありませんが、今回、この作文を通じて私の思いが誰かに届く第一歩になればと考えながら書きました。

それぞれに個性があって、違いがある、一人ひとりが特別な存在です。色々な人と巡り会うから人生は楽しいのです。私は私らしく、あなたはあなたらしく生きていきましょう。

知事賞 標語ポスター部門

東祖谷小学校1年 栗枝 英汰

久勝小学校2年 塩田 凰翔

西井川小学校3年 喜多 銀河

市場小学校4年 森本 陽菜

上浦小学校6年 天羽 結美

大俣小学校6年 宮地 里奈子

北島中学校1年 菊川 優衣

阿南第一中学校2年 鶴羽 胡々

名西高等学校1年 大迫 百々香

池田高等学校2年 大西 桜

知事賞 作詩作曲部門

白いアネモネ　作詩作曲／名西高等学校 24HR

いろんな所から　集まった種
形も大きさも違うけど　みんな夢を持っている

ときには　強い日差しが眩しくて　負けそうで
ときには　強い風に吹かれて　それでも芽を出した

※Keep your head up　うつむかないで
　Keep hope alive　希望を持って
　あなたは気付いてないだけ　大きな力を持っている

今日もまた　話しかけてくれる誰か
いつからか待ち遠しく思う　あの子のことを

ときには　生きていく自信も失ったり
ときには　負けそうになるけど　それでも前を向いてた

※くり返し

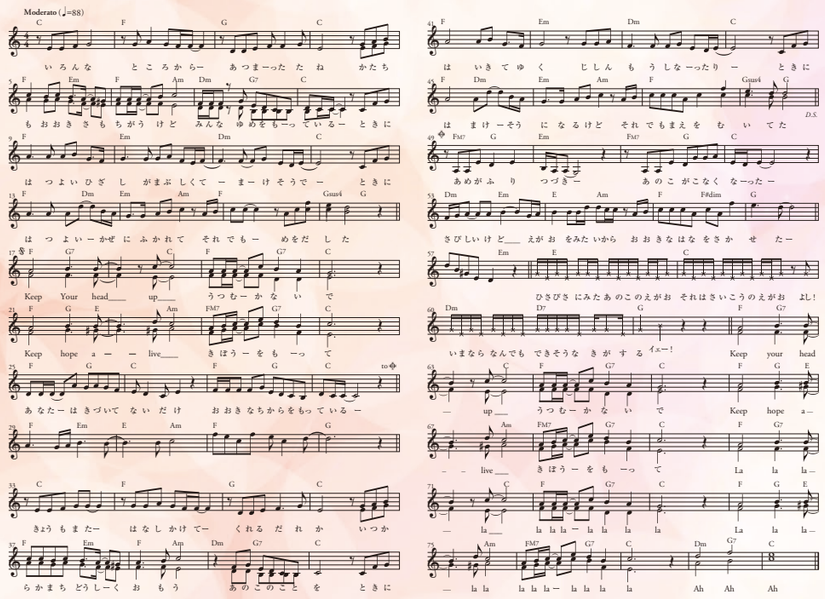
雨が降り続き　あの子が来なくなった
さびしいけど　笑顔を見たいから　大きな花を咲かせた

久々に見たあの子の笑顔　それは最高の笑顔
よし今なら何でもできそうな気がする!

Keep your head up　うつむかないで
Keep hope alive　希望を持って
La la la …

Ah-　Ah-　Ah-

※白いアネモネの花ことばは“希望”です。



心と心で　作詩作曲／城北高等学校 3年 宮内 陽菜

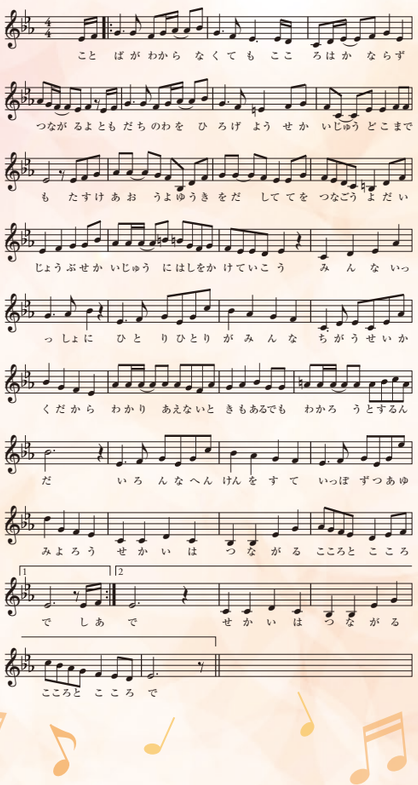
言葉が　わからなくても
心は必ず　繋がるよ
友達の輪を　広げよう
世界中　どこまでも
助け合おうよ　勇気を出して

手を繋ごうよ　大丈夫
世界中に橋を架けていこう
みんな一緒に
ひとりひとりが　みんな違う性格だから
分かり合えない時もある
でも分かろうとするんだ
色んな偏見を捨て
一歩ずつ　歩み寄ろう
世界は繋がる　心と心で

幸せじゃない　みんなが
誰かが泣いている　世界では
いろいろ理由があるけど
悲しいことだよね
考えようよ　何ができるかを
見て見ぬふりは　できないよ
同じ地球に住んでいるのだから
助け合おうよ
今の私にできることは　小さいけれど
もっと知りたい　世界のこと

わたしたちに　できること
今　未来に向かって
ひとりじゃない　私は
世界は繋がる　心と心で

世界は繋がる　心と心で



知事賞 作詩作曲部門

知事賞受賞曲は、あいぽーと徳島のホームページから
お聴きいただくことができます。
https://www.aiport.jp/katsudo/sonota/page04.html

教育長賞

【意見発表に係る作文】
高浦中学校2年・高橋 美有／鳴門中学校3年・渡辺 翔太／吉野中学校3年・川下 駿／城東高等学校2年・美馬 花梨／板野支援学校高等部2年・和田 京香

【作詩作曲】
岩倉中学校3年・朝妻 京楓／城東高等学校1年・七條 佳奈／城東高等学校2年・岸澗 希美／阿南支援学校高等部・人権サークル さわやかクラブ

【標語ポスター】
大俣小学校1年・笠井 美結／半田小学校1年・松浦 桃花／三庄小学校1年・加藤 汰暉／佐古小学校2年・岡崎 ひなた／佐古小学校2年・四宮 眞白／飯尾敏地小学校2年・河野 翔太／芝生小学校2年・藤本 ユリア／東祖谷小学校2年・森 絵梨／応神小学校3年・佐藤 愛心／鳴門東小学校3年・湯浅 未来／橘小学校3年・高島 心愛／北島小学校3年・永田 愛葉／三庄小学校3年・矢野 祈里／宝田小学校4年・魁生 日菜／知恵島小学校4年・大倉 知紗／東光小学校4年・富原 夕優／貞光小学校4年・村上 夢佳／知恵島小学校5年・小椋 眞佐都／平谷小学校5年・森原 直美／東光小学校5年・鎌谷 真帆／王地小学校6年・太刀野 奏音／芝生小学校6年・河内 葵衣／平谷小学校6年・森原 鈴花／海南小学校6年・油津 ひなた／池田支援学校小学部6年・藤川 美咲／岩倉中学校1年・大泉 優羽／岩倉中学校1年・中村 姫菜／市場中学校2年・而木 菜那心／上板中学校2年・松岡 実莉／三好中学校2年・大石 鈴花／阿南支援学校ひわさ分校中学部2年・藤崎 真二／鳴門教育大学附属中学校3年・成瀬 まなみ／三野中学校3年・上窪 伶奈／牟岐中学校3年・仲井 良二／城東高等学校1年・高橋 舞／鳴門高等学校1年・高橋 水夏／名西高等学校1年・山根 萌々香／小松島西高等学校2年・大橋 歩実／富岡東高等学校2年・井坂 百花／富岡西高等学校2年・大下 和／徳島聴覚支援学校高等部2年・巴 優菜

理事長賞

【意見発表に係る作文】
貞光中学校1年・鎮山 夏妃／三野中学校2年・坂井 美優／穴吹中学校3年・佐古 晴惇／徳島市立高等学校1年・豊川 ひかる／阿波高等学校2年・中原 千李／富岡西高等学校3年・野々宮 舞

【作詩作曲】
城東高等学校1年・福士 華／城東高等学校1年・林一 葉／城東高等学校2年・石井 沙和

【標語ポスター】
櫛渕小学校1年・服部 葵／森山小学校1年・秦 叶望／西麻植小学校1年・福田 陽向／海南小学校1年・松本 知也／宍喰小学校1年・松岡 莉緒／東光小学校1年・佐藤 葵／徳島聴覚支援学校小学部1年・長田 魁己／応神小学校2年・齋藤 州吾／八幡小学校2年・尾田 興亮／東祖谷小学校2年・山田 瀬奈／吾橋小学校2年・平石 愛莉／生比奈小学校2年・大西 悠太／宍喰小学校2年・森本 里奈／東光小学校2年・溝渕 遥／三庄小学校2年・三木 天花／応神小学校3年・片山 彪牙／土成小学校3年・藤原 愛斗／浦庄小学校3年・天羽 陸斗／高原小学校3年・飛鳥 颯梧／由岐小学校3年・長田 輝空／海南小学校3年・岸本 汐奈／応神小学校4年・井上 れな／林崎小学校4年・喜来 陽葉／宝田小学校4年・田中 琥太／一条小学校4年・籠谷 高翔／高原小学校4年・貝原 帆波／海部小学校4年・櫛田 成来／北島南小学校4年・日浅 うた／板野支援学校小学部4年・大和 晃己／池田支援学校小学部4年・眞鍋 陽翔／大津西小学校5年・亘 悠太／知恵島小学校5年・木下 純愛／一条小学校5年・武田 直翔／伊沢小学校5年・林 優希／板野支援学校小学部5年・小笠 健太／池田支援学校小学部5年・城 佳奈美／川内南小学校6年・高橋 那緒／川内南小学校6年・坂東 千英／板東小学校6年・松浦 穂実／富岡小学校6年・須崎 有咲／知恵島小学校6年・大久保 百華／白地小学校6年・松下 まみ／鷲敷小学校6年・水口 楓花／海南小学校6年・谷 珠業／阿南支援学校ひわさ分校小学部6年・新田 真子／阿南支援学校中学部1年・形部 流空／阿南支援学校ひわさ分校中学部1年・上田 煌／阿南中学校2年・関本 芽吹／山川中学校2年・佐藤 正理／山川中学校2年・和田 唯里／瀬戸中学校3年・岡田 結愛／瀬戸中学校3年・三木 心暖／阿南中学校3年・坂口 美優紀／阿南第二中学校3年・外礒 大貴／市場中学校3年・大舘 美月／波中学校3年・田村 佑誠／井川中学校3年・眞鍋 里菜／三好中学校3年・細川 侑愛／板野支援学校中学部3年・楠本 章太／板野支援学校中学部3年・南郷 志歩／城東高等学校1年・葉坂 ゆめ／徳島北高等学校1年・四宮 陽菜／徳島市立高等学校1年・澤田 悠里／徳島商業高等学校1年・森脇 叶愛／名西高等学校1年・山本 心結／脇町高等学校1年・坂東 美桜／池田高等学校辻校1年・小山 千尋／板野支援学校高等部1年・遠藤 悠李子／阿南支援学校ひわさ分校高等部1年・新發彩／城北高等学校2年・丸山 みい／徳島北高等学校2年・小礒 有莉／板野支援学校高等部2年・幸村 はるか／小松島高等学校3年・寶田 里菜／阿南支援学校ひわさ分校高等部3年・沼島 優騎／鴨島支援学校高等部3年・坂東 佳歩